

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 3 月 29 日

仕事の内容	在宅サービスセンター運営事業					
担当部署・課長名	高齢介護	課	介護保険	係	課長名	伊野宮 崇

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	2 - 2	-
【施策名】 高齢者保健福祉の推進	総合計画書(ページ)	51	

予算名	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	3 老人福祉費	事業	11 在宅サービスセンター運営事業費
-----	---	-------	---	---------	---	---------	----	--------------------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)
	要支援1、要支援2、要介護1~5の方が利用する在宅サービスセンター。	→施設
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)
	住み慣れた地域の中で高齢者がいきいきとした生活が送れるよう介護や機能訓練、健康管理、趣味、生きがい活動、送迎等を行う在宅サービスセンターの稼働率をあげて、施設の収入を増やしたい。	→稼働率
	③ そのために何をしましたか。	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)
	基本協定書・年度協定書の作成や指定管理委託料、自動体外除細動器賃借料の支払事務を行った。また、毎月、提出される事業状況報告書等により施設の状況把握に努めた。	→事業状況報告の確認は12回。

		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
2 指標の推移	対象指標	①の数値	施設	2	2	2	/
	成果指標	②の数値	%	82	82	86	/
	目 標	②の目標値			85	84	84
	目標値設定の考え方		前年度実績を基に設定した。				
	活動指標	③の数値	回	12	12	12	/

3 経費	事業費(実績)		円	29,178,840	29,178,840	29,178,840	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	29,178,840	29,178,840	29,178,840	
		特定財源	円				
	(うち受益者負担)		円				
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.2	0.2	0.2	
		所要人数(再任用)	人				
職員人件費(再任用以外)		円	1,653,400	1,650,600	1,648,800		
職員人件費(再任用)		円					
事業費+人件費		円	30,832,240	30,829,440	30,827,640		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。
	平成18年4月開始。 指定管理者による事業の実施と施設管理を目的とする。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。
	民間の事業所が増加している。

仕 事 の 内 容	在宅サービスセンター運営事業					
担当部署・課長名	高齢介護	課	介護保険	係	課長名	伊野宮 崇

5 市民 等 の 意 見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について					
	高齢者の増加により、介護保険を利用する方が増え、通所介護事業所に対する期待が高まっている。					
6 市民 協 働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）					
	取り組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）			
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点					
	利用者を対象とした事業に限らず、地域に根差した施設としての地域貢献事業の提案を求めたい。					
7 課 題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題(2)」の内容					
	稼働率の向上。					
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。					
	魅力ある施設環境の確保を目的に、空調や照明設備の更新について検討・提案があった。					
8 今 後 の 方 向 性	(3)(2)を踏まえた今後の課題					
	稼働率をひとつの指標としているが、公施設として効率のみを優先することなく、社会情勢や市民要望に配慮したい。					
	(1)仕事の方向性（「7 課題(3)」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）					
	指定管理者と密な情報交換を行い、課題の把握、解決策を検討する。					
今 後 の 方 向 性	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等					
	定期的な情報交換の機会の設定。					
	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。					
成 果	成果を向上させる。				経 費	仕事の経費は維持する。